

広報

ゆうべつ

2025

No.193

10



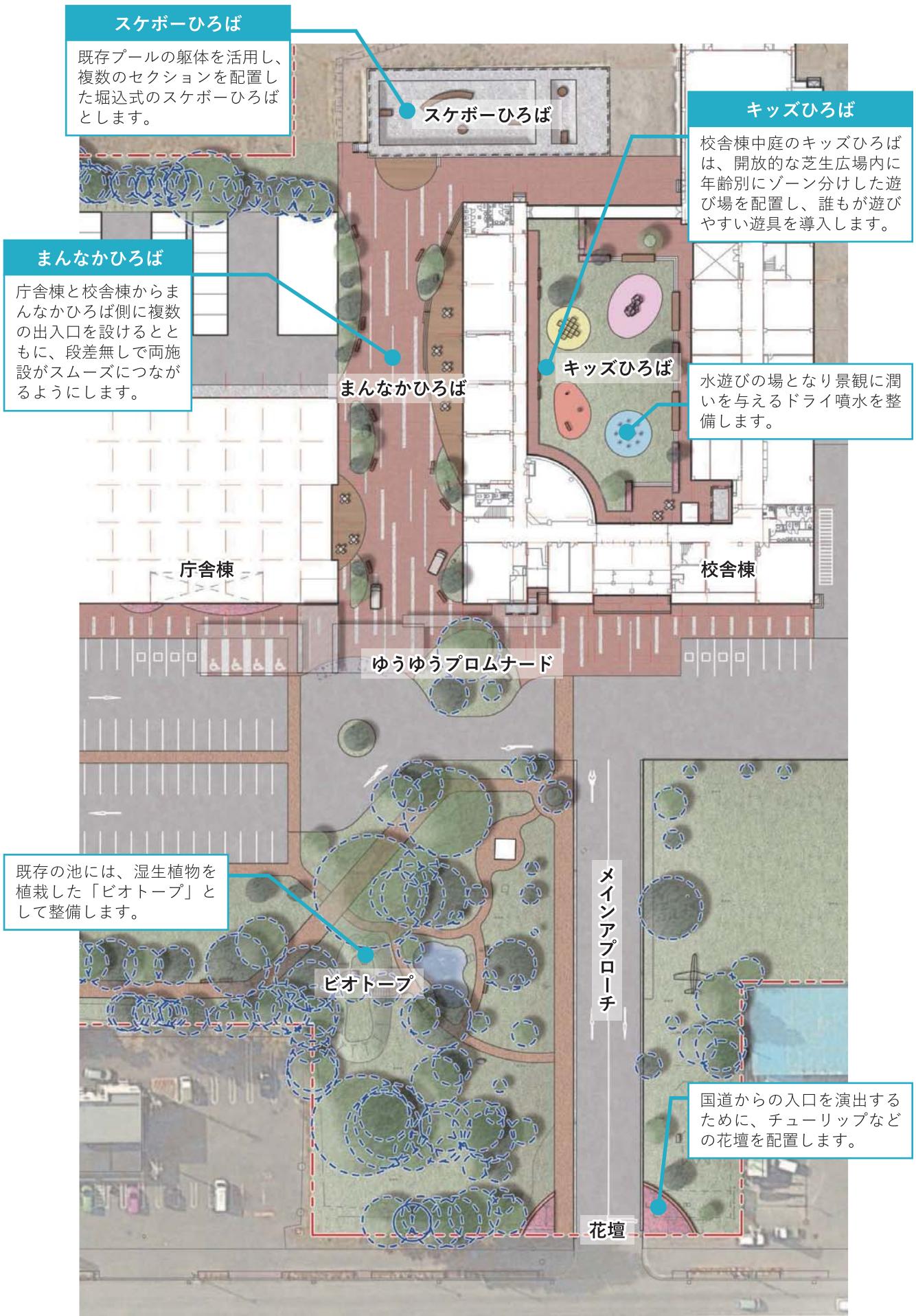
今月の主な内容

- 新庁舎基本設計
- 財政健全化比率
- ピースフルスクール

今月の表紙

最後の1匹をつかみ取る
第43回湧別町産業まつり

外構計画 庁舎棟



新庁舎等の基本設計がまとまりました

～人と自然が輝くオホーツクのまち～



外観イメージ

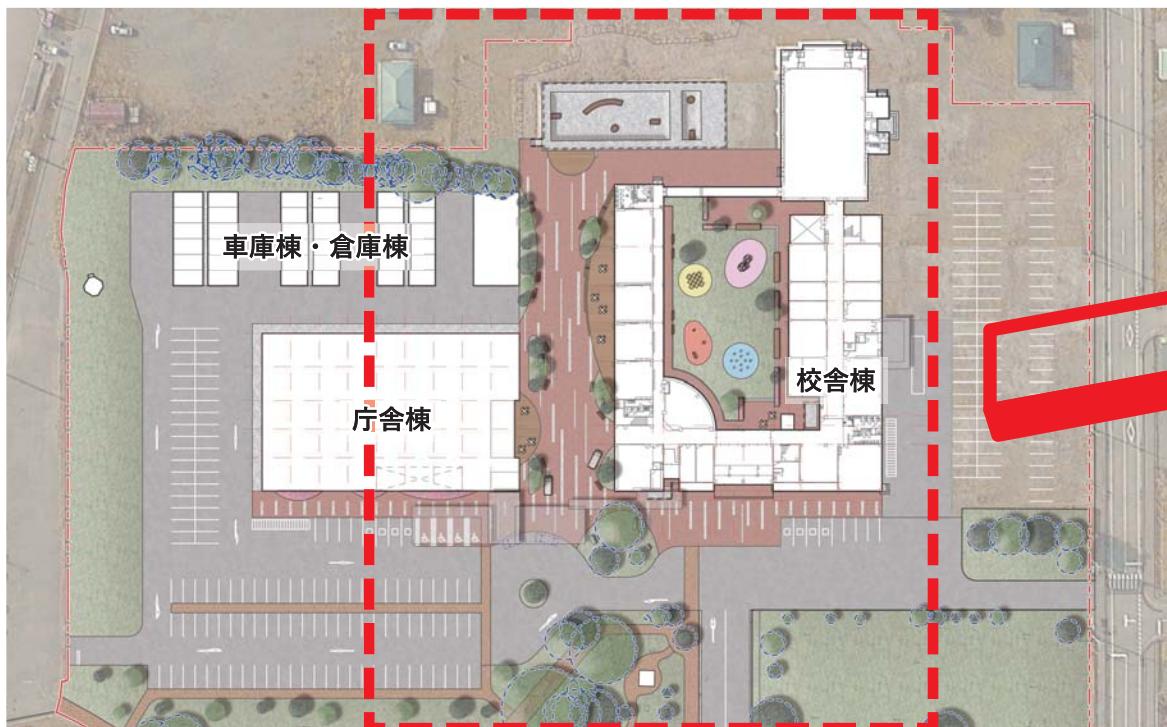
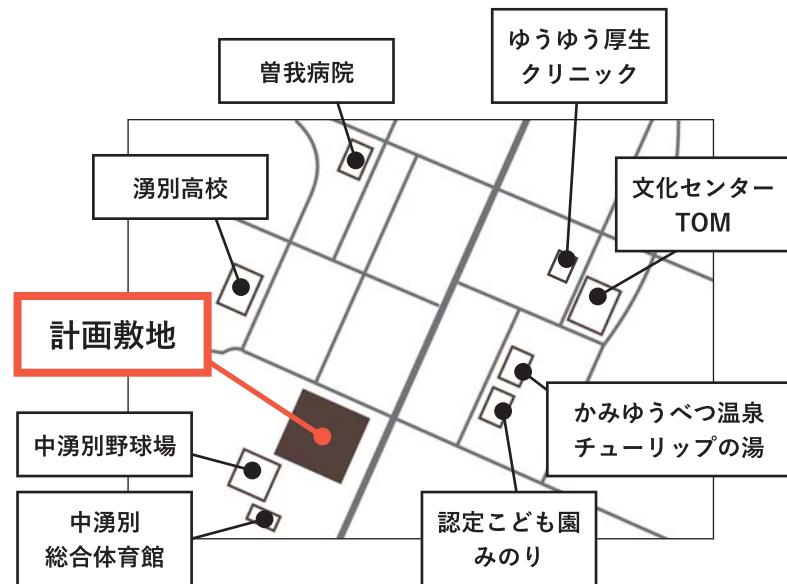
町では、令和10年度供用開始に向けて昨年5月に策定した「新庁舎建設等基本計画」に基づき、新庁舎に係る建物配置、機能、平面計画などの基本設計図書がまとまりましたので、その概要をお知らせします。

◆新庁舎等の概要（計画敷地・建物）

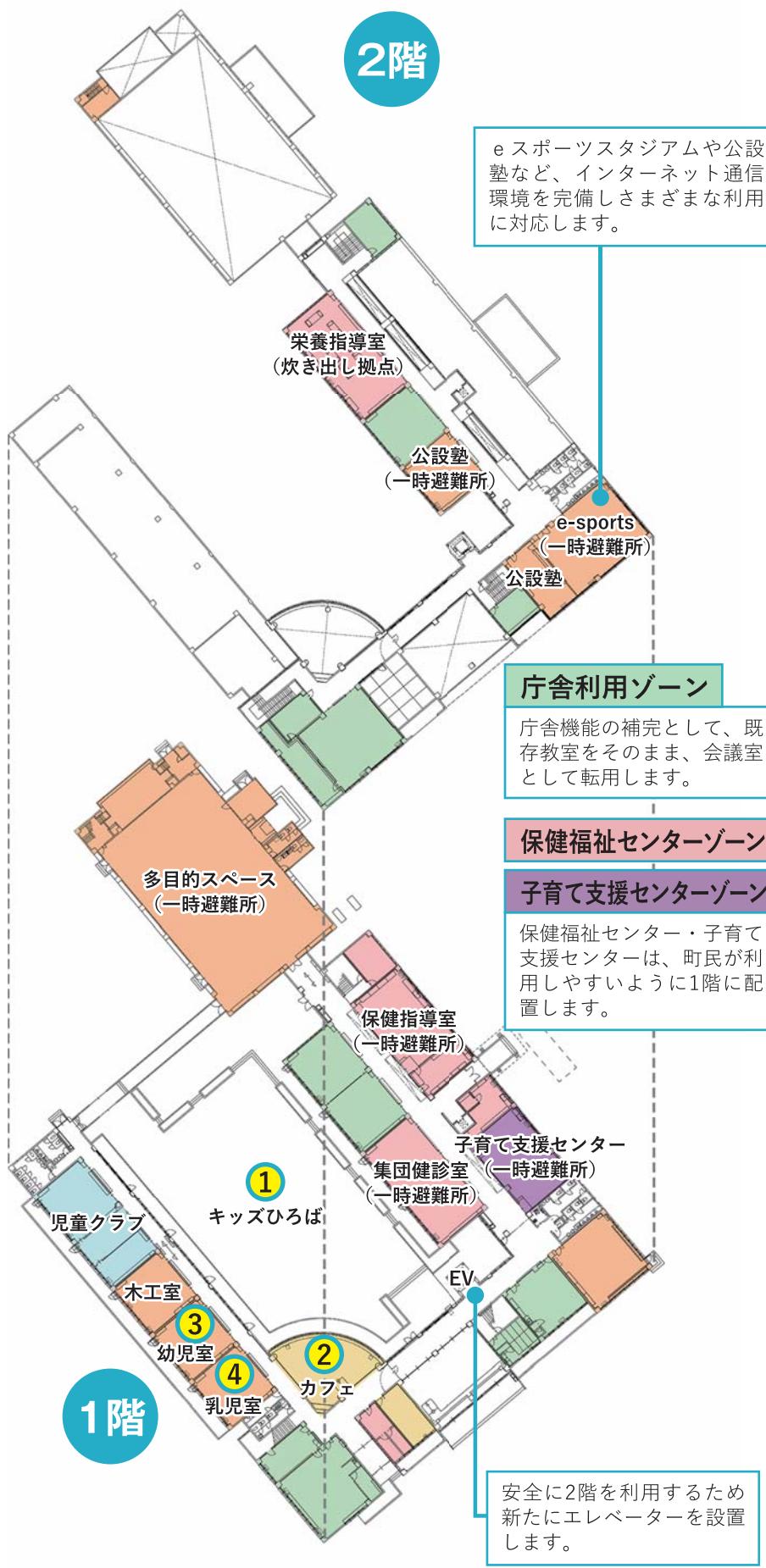
所 在 地：湧別町中湧別南町914番地ほか
(旧中湧別小学校敷地)

敷地面積：35,893m²

	庁舎棟（新築）	校舎棟（改修）
構 造	鉄筋コンクリート造+木造（混構造）	鉄筋コンクリート造
階 数	地上2階建て	地上2階建て
延べ面積	3,613.52m ²	3,869.60m ²



平面計画 校舎棟



平面計画 庁舎棟

① 議 場



フラットな床、キャスター付きの家具にすることで、議会以外にも多目的に利用可能にします

浸水時に備え、災害対策本部やサーバー室、備蓄庫は2階へ、受変電設備などは屋上に配置します。

議会ゾーン

議会部門は2階に集約して配置し、利便性に配慮します。

2階



② 湧くわくラウンジ



選挙事務、臨時窓口などとして休日でも使用できる、湧くわくラウンジを設置します

執務ゾーン

1階の窓口は町民の利用が多い課を配置します。

③ 待合ロビー・ホール



待合ロビーは2層吹き抜けで、明るく開放的な空間とします

来町者ゾーン

主出入口付近に、エレベーターと階段を配置し、分かりやすさに配慮します。

1階



◆概算事業費 ※今後の社会情勢、物価変動により、概算金額が変動する可能性があります。

区分	概算工事費	備考
庁舎棟新築工事	33億6,800万円	建築・電気設備・機械設備工事
校舎棟改修工事	10億1,400万円	建築・電気設備・機械設備工事
外構工事等	6億7,800万円	各ひろば・駐車場・車庫等
その他費用	5億6,300万円	設計、備品購入
解体工事	2億8,000万円	湧別庁舎解体
合計	59億 300万円	
上記の内、実質町負担額	26億9,300万円	

◆町民説明会での主な意見 参加延べ人数157人（実人数124人）

9/2 文化センターTOM 9/3 文化センターさざ波 9/4 芭露地区会館、上湧別コミュニティセンター

庁舎建設について、十分な説明責任を果たしたと評価し、建設に期待を寄せている。若者たちが地域活性化に取り組む中、この庁舎を地域発展の起爆剤として町づくりをさらに進めていただきたい。

答

貴重な意見として賜ります。

人口減少の中、工事費の上昇を懸念しております、財政面が心配である。

答

現在のところ財政的に大変になるという心配はありませんので、段階的にインフラ整備、各種事業を推進しつつ、この計画を進めています。

湧別地区の出張所に多めの人員を配置してほしい。

答

必要な職員数を置いて、住民サービスには影響のないように考えます。

町有林を庁舎に活用する発想は良く、針葉樹以外の木もぜひ活用してほしい。

答

町有林の使用は当初から進めていた部分であり、針葉樹、広葉樹、天然林も町有林にたくさんあるので、活用を検討します。

◆パブリックコメント（意見募集）による主な意見 募集期間（8/6～9/11）意見総数5件（4人）

庁舎棟についてはシンプルな設計で維持管理コストを抑えるべき。校舎棟の大規模改修は不要で、必要な場合のみ対応する方が良い。町の人口減少や職員減少を見据え、現状での活用をすべき。太陽光発電の導入は必要ない。

答

庁舎棟の外観や内装は華美にする考えはしていません。校舎棟の改修は、用途変更にともなう法令適合や照明のLED化、空調設備・エレベーター新設などの設備更新が主なものです。

本町はゼロカーボンシティを宣言しており、庁舎棟はZEB Ready達成を目指すうえで、太陽光発電、蓄電池、地中熱活用設備の導入は必要と考えています。

近隣市町にも新庁舎はあるが、これほどの複合施設は少なく、子ども達も湧別にこれができる喜んでいます。現在の交付税や道予算を活用できるタイミングを逃すと、物価や建設コスト上昇、人口減少、税収減などでさらに困難になります。将来の町職員確保や住民サービス維持の観点からも、計画を先送りすると負の遺産となり、子ども達や若い世代にも悪影響を及ぼすと懸念しています。

答

建設コスト増加や国からの財政支援を考慮し、現時点での整備が最善と判断して計画を進めています。新庁舎等が、子や孫に負の遺産としてではなく、現在の子ども達が将来にわたり有効活用できる施設となるよう計画を進めています。

その他いただいたご意見は、町ホームページでご覧いただけます。



環境配慮計画

町有林を活用



待合エリアは、町有林を活用した木造にすることで、脱炭素に貢献し、町の資源を有効活用します。

地中熱の活用



年間を通じて一定温度の地中熱ヒートポンプを導入し、空調エネルギーとして利用します。

ZEB Ready庁舎



建築性能を高め、自然エネルギーの活用と省エネ技術により、ZEB Ready 庁舎を目標とします。



照明の最適化

全館LED照明を導入し、室内環境に応じた照度調整やセンサーを活用して負荷を最適化。無駄な点灯を防ぎます。



太陽光発電

太陽光発電設備や蓄電池を設置します。

※ZEB:ネット・ゼロ・エネルギー・ビル

快適な室内環境を実現しながら、建物で消費する年間の一次エネルギーの収支をゼロにすることを目指した建物のこと

※ZEB Ready

ZEBを見据え、建物の壁や屋根の高断熱化や高効率な省エネルギー設備を備えた建物

防災計画

●庁舎棟

- ・上湧別庁舎、湧別庁舎・文化センターさざ波に分散した行政機能を集約とともに、災害対策本部機能を1カ所にまとめることで、災害時に迅速に指揮、復旧支援ができる施設を目指します。
- ・災害応急対策の期間は3日と想定し、災害対策本部のライフラインが確保できる計画とします。

電 源

【非常発電】

商用電源が途絶した際には自家発電機により連続72時間供給

【燃料備蓄】 3日分

※庁舎棟+校舎棟

飲料水

ペットボトルにより確保

災害時には飲料水に限らず、災害協定を締結している「(株)セブン-イレブン・ジャパン」様、「(株)ツルハ」様、「DCMニコット(株)」様から必要物品を提供していただきます

雑用水

雑用水槽に常時備蓄

※非常時の7日分相当
※校舎棟は、既存高架水槽に常時備蓄

排 水

下水管が破断した際には、緊急排水槽に排水
※非常時の7日分相当

●校舎棟

- ・栄養指導室は既存の調理台を再活用して、災害時には炊き出しの調理場として機能します。
- ・災害時に応じて、一時避難所と災害用備蓄庫を完備します。

◆事業スケジュール



財政健全化

判断比率等

財政の健全性を示す指標の公表

町の財政状況がどのような状況にあるのかを判断するため、「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」において地方公共団体の財政の健全性を示すものとして定められた統一的な指標です。

監査委員の審査を受け、議会に報告するとともに、町民の皆さまへ毎年公表することが義務付けられています。

◆健全化判断比率

● 4つの指標があります

- ①実質赤字比率
- ②連結実質赤字比率
- ③実質公債費比率
- ④将来負担比率

それぞれに早期健全化基準と財政再生基準があります（④は財政再生基準なし）。

●①～④のどれか1つでも早期健全化基準以上になると、自主的な改善努力による財政の健全化を図るため、「財政健全化計画」を策定し、外部監査を求めなければいけません。

●①～③のどれか1つでも財政再生基準以上になると、「財政再生計画」の策定が義務付けられ地方債の発行が制限されるなど、国などの関与による確実な財政の再生が求められます。

	①実質赤字比率	②連結実質赤字比率	③実質公債費比率	④将来負担比率
令和6年度	—	—	9.0%	—
早期健全化基準	14.58%	19.58%	25.0%	350.0%
財政再生基準	20.00%	30.00%	35.0%	斜線

※実質赤字額または連結実質赤字額がない場合、および実質公債費比率または将来負担比率が算定されない場合は「—」で表示します。

各指標の説明

①実質赤字比率

福祉、教育、まちづくりなどを行う地方公共団体の一般会計の赤字の程度を指標化し、財政運営の深刻度を示すのが「実質赤字比率」です。

この比率が高くなるほど、赤字の解消が難しくなってくるので、より多くの歳出削減対策や歳入の増加策を講じるとともに、解消の期間も長期間にわたる可能性が高くなるなど深刻な事態になっているということになります。

②連結実質赤字比率

すべての会計の赤字や黒字を合算し、地方公共団体全体としての赤字の程度を指標化し、地方公共団体全体としての運営の深刻度を示すのが「連結実質赤字比率」です。

この比率が高くなるほど、より多くの歳出削減対策や歳入の増加策を講じなければならなくなり、また、その解消期間も長期間にわたる可能性が高くなります。

③実質公債費比率

借入金（地方債）の返済に関する金額の大きさを指標化し、資金繰りの危険度を示すのが「実質公債費比率」です。

この比率が高まるほど、財政の弾力性が低下し、他の経費を節減しないと赤字団体に転落する可能性が高まるなどの一般会計の資金繰りの危険度を示す指標です。

④将来負担比率

地方公共団体の一般会計の借入金や将来支払っていく可能性がある負担などの現時点における残高の程度を指標化し、将来財政を圧迫する可能性が高いかどうかを示すのが「将来負担比率」です。

この比率が高い場合、将来こうした負担額を実際に支払っていかなければならぬので、今後の財政運営が圧迫されるなど問題が生じる可能性が高いといえます。

⑤資金不足比率

公営企業の資金不足を、公営企業の事業規模である料金収入の規模と比較して指標化し、経営状況の深刻度を示すのが「資金不足比率」です。

この比率が高くなるほど、料金収入で資金不足を解消するのが難しくなることから、公営企業として経営に問題があることになります。

◆資金不足比率

公営企業会計ごとに算定し、経営健全化基準以上になると、公営企業の経営健全化を図るため、「経営健全化計画」を策定し、外部監査を求めなければいけません。

会計名	⑤資金不足比率 令和6年度	経営健全化基準
水道事業会計	—	
簡易水道事業特別会計	—	20.0%
下水道事業特別会計	—	

※資金不足額がなく、比率が算定されない場合は「—」で表示します。

湧別町の財政は健全

湧別町の令和6年度決算における健全化判断比率および資金不足比率は、すべて基準を下回り、町の財政は健全であることを示す結果となりました。

今後も健全な財政状況を維持できるよう適正な財政運営に努めます。

自立

×

共生

自分の意見を持ち、相手に伝えることができる
ほめ言葉など、お互いに気持ちのいい言葉を使うことができる
自分やお友達の気持ちを認識し、言葉で伝えることができる
嫌な時には「やめて」と伝え、話し合いで解決することができる
違いを受け入れ、自分と異なる人を排除せずに尊重することができる
協力して遊びや活動を決め、コミュニティに貢献することができる



7年間取り組んだ中で、「話しを聞く」「相手の気持ちを知る」「自分の意見を持って相手に伝える」力が付いたと感じます。年長児のレッスン後期になると、真剣に参加する姿が見られるようになりますよ。

園の生活の中でトラブルがあったとき、レッスンでの学びを生かして解決に導くことができています。

レッスンでの経験が、納得する心へつながっています。

湧別認定こども園
鈴木園長





湧別町立保育所での取り組み

ピースフルスクール

ピースフルスクールとは

ピースフルスクール（以下、PSP）は、世界一子どもが幸せな国といわれるオランダ発祥。いじめや子どもの問題行動に対する根源的なアプローチとして開発されました。

湧別町では、PSPの日本への導入を行っているクマヒラセキュリティ財団 熊平美香さんのご指導のもと令和元年から湧別認定こども園や芭露保育所で開始され、今年で7年目。年中児から年長児まで全26回のレッスンを、パペットを使った劇で行います。

レッスン内容は、コミュニケーションの基礎力を伸ばすことから、誰かのために動く力を身につけるまで。初めは課題をもらって行っていたレッスンも、最終的には自分たちで話し合い、実行できる主体性が身につきます。

＜充実した研修＞

保育士は、レッスン後に熊平さんとオンライン学習を行い、レッスンについての指導を受けています。また、年に1回熊平さんが来町した際に、勉強会を実施。保育士が自分自身を見つめなおし、一人ひとりが持つ能力を生かして子どもたちと向き合えるよう、学んでいます。



利用者満足度○

町の「保育園留学」が好評です！

町で取り組んでいる「保育園留学」が、利用者から高い満足度を得ています。都会では味わえないオホーツクの自然環境や、町民の皆さんとの温かな対応が子どもたちにもご家族にも大好評です。

保育園留学とは

都市部に住むご家族が、地方で1～2週間生活し、その地域の保育園を利用しながら地方暮らしを体験できるプログラムです。

昨年の9月から取り組みを開始し、湧別認定こども園で子どもの受け入れを行っています。

令和7年度は、6月から9月までの3ヶ月間で7組23人のご家族が湧別町での暮らしを体験しています。

利用したご家族の感想

まちの温かい雰囲気と大自然の中で貴重な体験ができた

最高に楽しくかけがえのない時間が過ごせた

帰りたくない、また絶対来たい

町の方々が温かく穏やか

町の皆さんの笑顔には嘘がなく、豊かで素敵な町

住民の皆さんの人柄も湧別町の魅力になっています

すでに2回目の留学を予約されているご家族や、二地域居住や移住に夢を膨らませているご家族も！



和歌山県在住の小川さんご夫婦は、3歳と1歳のお子さんと共に2週間のプログラムを体験。期間中、「町長いつでもカフェ」でお話を伺いました。

育児休暇中のため「観光では行かない場所へ」と、湧別を選んだというお二人。町での生活を、「湧別の方々のご厚意で、タマネギの収穫や牧場見学など、日ごろの生活ではできない貴重な体験ができた。流氷も見てみたいし、今回お世話になった方々にもう一度会いたいので、別の季節にもまた来たい」と振り返りました。

小川さんは、湧別認定こども園で留学を体験したお子さんについても、「もうすぐ帰ると伝えると、北海道がいい！と。園にも泣かずに通い、楽しんでいた」と話し、湧別での生活にご家族の皆さんが満足されている様子でした。

「保育園留学」は、都会で暮らす子どもたちが地域外のお友達とふれあうきっかけになります。また、湧別町への関心が高まることで、二地域居住や移住を考えるきっかけとなっています。

湧別町では、「人ととのつながりを大切に」、「子育てにやさしいまち」への取り組みを行っていきます



この事業は、サマージャンボ宝くじの収益金を活用して実施しています。

広告

お電話1本、24時間、365日お迎えに伺います

株式会社

えんがる葬祭

☎0158-42-9898



遠軽町学田2丁目6-1 FAX 0158-42-9933

24時間
受付

式場収容数

- ・大ホール400名
- ・中ホール200名
- ・小ホール100名
- ・法事ホール

北町会館



発電機やガス窯を使って「おにぎらず」や「味噌汁」を作りました

東京都



相澤教頭は「年々、ブース来訪者が増えており、道外からの留学に手ごたえを感じた」と話しました



上湧別庁舎応接室



この協定はDCMニコットによる防災協定として道内で9例目、オホーツク管内では初めての取り組みです

8/
23

北町に住むみんなで考える
北町防災研修会

北町自治会、北町自治会防災防犯部、北町シニアクラブの共催で「防災研修会」が行われ、町民46人が参加しました。

研修会は講話・炊き出し演習・避難所での食事の模擬体験の3部構成で実施。電気が使えない状況で避難してきた場合を想定した炊き出し演習や、町が災害備蓄している食料の実食も行いました。参加者は、何日間も備蓄食料で過ごす大変さにも気付くことができ、各家庭での備蓄や災害対策がいかに重要か体験できた様子でした。

8/
23・24

昨年比2.6倍の来訪者

湧別高校が東京で「地域みらい留学」出展

湧別高校が、「地域みらい留学高校進学フェスin東京」にブースを出展し、生徒の募集活動を行いました。東京をはじめ関東圏などから多くの中学生、保護者が詰めかけました。

湧別高校は一昨年から連続して3回目の出展となります。

両日で昨年比2.6倍となる40組の中学生、保護者がブースに立ち寄り、教育カリキュラムやクラブ活動、新築の学生寮について熱心に耳を傾けていました。

8/
25

福祉の充実のために
幸栄商事が福祉用具を寄贈

(株)幸栄商事（加藤良幸代表取締役）が湧別福祉会の施設を訪問し、社会福祉用具を寄贈されました。

これは、福祉の充実に役立ててもらおうと毎年行っているもので、湧別オホーツク園に車椅子、湧愛園に介護用クッションが寄贈されました。

湧別福祉会は「毎年、温かい心遣いに感謝しています。入所者のために大切に使わせていただきます。」と感謝の言葉を述べていました。

9/
1

湧別町が管内初
DCMニコットと防災協定締結

9月1日「防災の日」にあたり、町内に店舗を持つDCMニコット（株）と災害時における応急生活物資供給の協力協定を締きました。

調印式には同社の和泉代表取締役をはじめとする関係者が出席し、和泉代表と刈田町長がそれぞれ協定書に署名を交わしました。今回の協定により、災害発生時に必要とされる食料品、医療用品、寝具、衣料、日用品などを優先的に調達・供給する体制が構築されました。

9/
4

思いが詰まったひまわり畠 上芭露地区に咲く

9月上旬、上芭露地区ではひまわりが満開を迎え、道を走るドライバーの目を楽しませています。

このひまわりは空き地となり雑草が茂っていた上芭露中部（道道遠軽芭露線沿い、上芭露郵便局周辺）において、環境整備の一環として上芭露整備会（会長 中川藤男さん）が2007年から、みんなに楽しんでもらいたいという思いで毎年植えています。陽光を浴びながら満開に咲き誇るひまわりの美しさは、上芭露の夏を彩る風物詩となっています。

上芭露地区



この記事は職場体験実習で役場を訪れた湧別高校2年保科龍誠さんが作成しました

9/
9

地域を想う温かい支援 ふるさと納税寄附金贈呈式

湧別町へのふるさと応援寄附金および企業版ふるさと納税寄附金贈呈式が行われ、全国および海外で幅広い事業を展開するジーライオングループの創業者である田畠利彦さんから900万円のご寄附と、（株）ジーライオンの菊地秀武代表取締役社長から100万円のご寄附をいただきました。

贈呈式には、ジーライオングループを代表して湧別小型運送㈱代表取締役の福原裕二さん、専務取締役である大北均さんが出席されました。

上湧別庁舎応接室



町長は「今回いただきましたご寄附は、ご意向に沿うよう有効活用させていただきます」と感謝を述べました

上湧別学園



自然災害や防災に対する知識・意識が向上する一日になりました

9/
1・9

災害への備えを体験 1日防災学校

上湧別学園、ゆうべつ学園で「1日防災学校」が開催されました。

網走地方気象台や、北海道開発局、役場職員などが講師となり、全校生徒が自然災害や防災について1日を通して体験。津波や洪水の映像を見たり、段ボールベッドを組み立て、新聞紙でスリッパを作ったりして、災害が発生した時のイメージをふくらませました。

体験した児童は、「ちょっと暑いけど、段ボールベッドの寝心地が良かった」と話しました。

武道館



終始和やかな雰囲気で、充実した時間となりました

9/
10

湧別で交流深める 合気道 木下道場と合同稽古

町内で合気道の合宿を行っていた木下道場（東京都）と、オホーツク中湧別道場の合同稽古が行われました。

今回の合同稽古は、全日本合気道連盟の理事長を務める湧別町出身の尾崎聰さんのご尽力により実現したものです。木下道場からは、木下悦子師範はじめ、有段者6人が参加。中湧別道場は、義務教育学校1年生から大人まで、幅広い世代の参加者が集まりました。木下道場の皆さんは長年の経験を生かして優しくアドバイスを行い、参加者たちは熱心に稽古に取り組みました。



9/
6-13

体を動かす習慣をつけよう
ゆうべつアクティブチャレンジ2025

モルック大会



元気まつり2025



スポーツや健康づくりなど、15分以上体を動かすことに挑戦する住民参加型のスポーツイベントとして1週間にわたり開催した「ゆうべつアクティブチャレンジ2025」。期間中さまざまなイベントが行われ、延べ6300人を超える方が参加しました。

今後も運動を行い、日ごろから健康的な体づくりを心がけましょう！

パークゴルフ大会



町民ラジオ体操



ゆうべつ五鹿山マラソン2025



文化センターTOM



今年度の生涯学習講座「湧別町民大学」は、全5回の講演が行われます

文化センターさざ波



参加者に今後の支え合い活動のヒントを提供するものとなりました

9/
16

お金は生きているうちに使いましょう
湧別町民大学が開講

今年で49年目を迎えた湧別町民大学が開講しました。第1回目の講座では、経済ジャーナリストの荻原博子さんを講師にお招きし、「今からでも間に合う、明るい老後」と題した講演が行われ、町内外からおよそ130人が参加。

講演では、老後の資金に対する共通の不安である、介護と医療にかかる費用のことや、食品ロスの削減にもつながる節約術などが紹介され、受講者たちは熱心に耳を傾けていました。

9/
16

みんなでつながり優しいまちへ
地域の支え合い活動を考える学習会

湧別町生活支援体制整備事業を受託している社会福祉協議会が主催する「地域の支え合い活動を考える学習会」が開催され、85人が参加しました。

講師には湧別町出身で、NPO法人ホームヘルパー・ノア理事長であり日常生活支援あつべつ・たすけ愛ふくろう代表などを務めている澤出桃姫子さんをお招きし、「支え合い・助け合いで安心して暮らせる地域力」をテーマに講演が行なわれました。

9/
18

地域防災活動に尽力 服部義和さんに町感謝状贈呈

令和7年4月末で消防団を退団された、服部義和さんに、長年にわたり消防団幹部として消防活動にご尽力いただいた功績を称え、刈田町長から感謝状が贈呈されました。

副団長 服部 義和さん [消防団員歴45年9カ月]

上湧別庁舎応接室



長年にわたる消防団活動ありがとうございました。

9/
17-19

湧別の地でフィールドワーク 小樽商科大学の学生が来町

包括連携協定を締結している小樽商科大学の江頭副学長とゼミ生16人が湧別町の食のマーケティングや観光資源を調査するため来町しました。

滞在中、地域通貨に関する湧別高校生との合同ゼミ活動や地元事業者へのインタビュー、湧別の食材を使った湧別バーベキューの開発などを行いました。

最終日は町長を表敬訪問され、3日間で気づいた湧別の良さや学んだこと、今後の目標などについて学生の代表者が抱負や感想を述べ、町長との交流のひと時を過ごしました。

上湧別コミュニティセンター



包括連携協定を締結している小樽商科大学

9/
25

宿泊交流施設 Yura Yubetsu 湧別高校生向け学生寮が完成

湧別高校の入学者を確保するため、道外などからの入学者を受け入れる学生寮が完成しました。

この学生寮は、湧別高校の卒業生で東京都在住の長谷川芳博さんが建設され、町へご寄贈いただきました。

建設場所は中湧別中町の老人憩の家南側の町有地、木造2階建て全18室で、名称は長谷川さんのご令嬢のお名前「優良」をいただき、「宿泊交流施設 Yura Yubetsu (ゆら ゆうべつ)」としました。

湧別高校は、少子化の影響や進学先の選択肢の広がりなどによって入学者が減少しており、1学年2間口を確保するため、高校魅力化や存続対策事業に取り組んでいます。

令和6年度の生徒募集から、全国から学生を募集する「地域みらい留学」に参画しており、今夏に行った東京都などの全国募集の説明会においても、新築の学生寮に対する反響が大きく、進学希望者の増加が期待されています。

今後は、備品の整備など令和8年4月からの学生を迎える準備を進めます。



外観



内装



8月3日（日）

◆屯田七夕まつりでのできごと◆

屯田兵の行進はいつですか？

～本州からの来町者～

8月3日 屯田七夕まつりで会場内を歩いていた時に、「屯田兵の行進はいつですか？」と私（刈田町長）に尋ねてこられた方がいました。すでに行進の時間が過ぎていたので、「もう、終わりましたよ」とお伝えすると、とても残念そうな様子でした。

しかし、屯田会の方が屯田兵の衣装を着たまま残っていらっしゃったので、一緒に記念撮影をすることはできたのでした。この方は名古屋から先祖を訪ねて来られた神田真理子さん。神田さんの祖父は湧別屯田兵として5の3に入植した稻垣治郎吉さん、祖母は4の3に入植した服部金作の妹だった服部かまさんだったそうです。

約2時間後、神田さんは再び私のところを訪ねてくれました。息をはずませて、ふるさと館JRYで肖像画を見たこと、先祖の入植地を見たことなどをお話しいただきました。この方は祖父母と生前に会うことはなく写真でしか見たことがなかったそうですが、湧別にくることで、祖父母が30年暮らした年月を感じることができたそうです。

さて、神田さんのように先祖が湧別に住んでいた関わりのある人は何人いるのでしょうか。残念ながらそのような統計データはないので人数はわかりません。しかし、札幌や東京には湧別会がありますし、先日は湧別からブラジルに移住された方も来町されています。また、ふるさと館JRYには、本州から先祖を訪ねてくる方が毎年数名はいらっしゃるそうです。ですから、湧別と関わりのある方はかなりの数になりそうです。

どうやら、湧別は私たち7,841人だけの故郷ではなく、もっと多くの人にとっての故郷なのでしょう。神田さんもその一人となりました。湧別を守り続けることの重要性を実感しました。



各種大会で活躍

◆第70回北海道吹奏楽コンクール

(8/28:札幌市)

湧別高校吹奏楽部 **銀賞**



◆文部科学大臣杯 第17回全日本少年春季軟式野球大会

ENEOSトーナメント 北海道少年軟式野球選抜選手権

大会名鉄観光トーナメント 北・北海道大会

(9/13～15:遠軽町・湧別町)

湧別佐呂間合同野球チーム **出場**



◆第78回北海道高等学校ラグビーフットボール
南・北選手権大会兼

第105回全国高等学校ラグビーフットボール大会
北海道予選会

(9/19:北見市)

湧別高校ラグビー部 **出場**



湧別高校に公営塾オープン!



10月1日（水）、湧別高校で公営塾の開塾式が行われました。

開設した公営塾では、生徒への学習指導や進路相談、探究活動のサポート、居場所づくりなどを充実。学習意欲の高揚や学力の向上、学習習慣の定着を図り、湧別高校の魅力を高めることで、町内だけでなく全国から湧別高校への入学者確保につなげることを目指します。

午後3時30分から4時までの30分間は、週1回全生徒が公営塾を利用する時間とし、それ以外の時間は国公立大学の受験希望者や自主的に公営塾を利用する生徒への個別指導などを行います。

今後は、自分の住む地域に対する誇り“シビックプライド”をはぐくみ、未来の開拓者の育成を目指して、地域の方々や義務教育学校、包括連携協定を締結している大学などと連携した取組の実施も検討していきます。



塾生を代表して、3年生の廣井航希さんから「公営塾を活用して、受験勉強に励みたい」とあいさつがありました。

対象	開塾場所
湧別高校に在籍する全生徒	湧別高校図書室
開塾時間	利用料
平日 午後3時30分～8時00分	無料

公営塾でできること
・大学など進路実現に向けた受験勉強 ・日ごろの予習復習 ・資格検定に向けた勉強 ・探究活動の深掘り ・中学校の学習内容の学びなおし など

湧別高校への進学を検討されている方、教育関係者の方などを対象に、公営塾の見学を受け付けています。希望される方はご連絡ください。

- 役場企画財政課未来づくりグループ TEL01586-2-5862 メール：kikaku@town.yubetsu.lg.jp
- 湧別高校 TEL01586-2-2419 メール：yubetsu.kouejuku@gmail.com



イベント・行事スケジュール

10月10日から11月20日までに行われるイベントや行事をお知らせします。



10月11日(土)	わくわく体験塾「おもしろ科学実験」(10:00 文化センターTOM)
12日(日)	日本語学習支援者養成講座 (9:30 文化センターさざ波)
14日(火)	湧別町長選挙・湧別町議会議員選挙告示日 (立候補届け出8:30-17:00 上湧別コミュニティセンター) 水中エクササイズ体験 (10:00 湧別プール)
15日(水)	湧別町長選挙・湧別町議会議員選挙期日前投票 (8:30-20:00 上湧別コミュニティセンター・役場湧別庁舎) ~18日 運動・トレーニング教室「ゆうふいと。プラス」(18:30 湧別総合体育館)
16日(木)	チューリップ生きがい大学「養蜂家の仕事・最古のお酒とハネムーン」(10:00 文化センターさざ波)
17日(金)	つなぐカフェ(認知症カフェ) (14:00 リハビリ型デイサービスつなぐ)
18日(土)	芭露学園学園祭 (8:45 芭露学園) チャレンジスポーツスクール「タグラグビー」(10:00 湧別総合体育館) チューリップ球根植え付け会 (13:00 かみゆうべつチューリップ公園)
19日(日)	湧別町長選挙・湧別町議会議員選挙投票 (7:00-18:00 町内各投票所) 湧別町総合文化祭「芸能の部」(12:30 文化センターさざ波) 湧別町長選挙・湧別町議会議員選挙開票 (19:30 文化センターTOM)
23日(木)	学びすとカレッジ「シニアスマホ講座」(10:00 文化センターTOM)
25日(土)	ゆうべつ学園学園祭 (8:40 ゆうべつ学園) 芭露保育所お遊戯会 (9:30 文化センターTOM)
26日(日)	外国人向け日本文化交流事業 (9:30 文化センターさざ波) 湧別高校吹奏楽定期演奏会 (14:00 文化センターさざ波)
29日(水)	湧別町民大学「講師:山本命さん」(19:00 文化センターTOM)
30日(木)	運動・トレーニング教室「ゆうふいと。」(10:00 湧別総合体育館)
11月 1日(土)	上湧別学園学園祭 (8:15 上湧別学園) 遺跡調査報告会 (13:30 ふるさと館JR Y)
4日(火)	相互交流事業 ニュージーランド派遣事業 (7:00 ニュージーランド) ~14日
8日(土)	チャレンジスポーツスクール「バスケットボール」(10:00 湧別総合体育館) 半崎美子「明日を拓くコンサート2025」(19:00 文化センターさざ波)
9日(日)	子ども会交流ミニバレー大会 (9:00 中湧別総合体育館)
12日(水)	運動・トレーニング教室「ゆうふいと。」(10:00 湧別総合体育館) 運動・トレーニング教室「ゆうふいと。プラス」(18:30 湧別総合体育館)
13日(木)	チューリップ生きがい大学「レコード鑑賞会」(10:00 文化センターさざ波)
14日(金)	上湧別学園合唱祭 (13:10 上湧別学園)
15日(土)	わくわく体験塾「凧・コマづくり」(10:00 文化センターさざ波)
19日(水)	運動・トレーニング教室「ゆうふいと。」(14:00 湧別総合体育館)
20日(木)	相互交流事業 ニュージーランド派遣帰町報告会 (18:30 文化センターTOM)

広 告

上湧別リバーサイドゴルフ場



フラット
で
ゆったり
ビギナー
でも
楽しい
Let's enjoy
Golf♪

沢口産業株式会社
湧別町南兵村三区582番地
TEL (01586)2-3486

カーライフプラン
金利割引実施中

所定の審査がございます。商品内容等、詳しくは当金庫ホームページをご覧いただくか、窓口へお問い合わせください。



ふれあい さわやか
遠軽信用金庫





里親になりませんか？

「里親」とは、さまざまな事情から家庭で暮らせなくなつた子どもたちを自分の家庭に迎え入れて養育する方のことをいいます。特別な資格などは必要なく、どこにでもいる普通の家庭のお父さん、お母さんたちが登録されています。

オホーツク管内では、現在、約50組の里親がおり、約30人の子どもたちが里親家庭で生活しています。子どもの年齢や里親との相性なども考慮して委託先を決めため、管内各地に里親が増えています。

里親として登録され、家庭に恵まれない子どもたちの養育を担つていただける方のご連絡をお待ちしています。

◆お問い合わせ先

北海道北見児童相談所
TEL 0157-24-13498

年末調整手続き
電子化しませんか？

年末調整控除申告書作成用ソフトウェア「年調ソフト」で電子化す

ることで、記入や計算の手間が省けるほか、勤務先の事務も軽減されるので、従業員と勤務先どちらにもメリットがあります。

◆電子化のメリットは？

【従業員】

- ・控除額などの記入、手計算不要
- ・証明書などを紛失しても、再交付依頼不要

【勤務先】

- ・控除額の検算不要
- ・証明書などのチェック事務減少
- ・取り込み機能がある場合、給与計算ソフトに取り込める

◆利用方法は？

従業員は、保険料控除証明書を電子データで受け取り「年調ソフト」に取り込むことで、自動計算された各控除申告書をデータで作成することができます。申告書データはメールなどで勤務先に提出することができます。

◆保険料控除証明書を電子データで受け取るには？

各保険会社のウェブサイトなどから取得する方法と、マイナポータルで一括取得する方法があります。

※マイナポータルで一括取得する方は、国税庁ホームページ「マイナポータル連携特設ページ」をご覧ください。

◆年調ソフトの入手方法は？

控除証明書の電子データの取り込み・控除申告書のデータ作成に対応した「年調ソフト」は、各アピリストアや国税庁ホームページで入手できます。

◆お問い合わせ先

紋別税務署
TEL 0158-23-2191

教育資金を「国の教育ローン」がサポート

日本政策金融公庫の「国の教育ローン」は、高校、大学などへの入学時・在学中にかかる費用を対象とした公的な制度です。

お子さま1人につき350万円以内を、固定金利（年2.40%※令和6年8月1日現在）で利用でき、在学期間内は利息のみの支払いとすることができます。詳しくはホームページをご覧ください。

相続手続

「親の名義のままの土地」はありませんか？
祖父母兄弟姉妹相続も、お問い合わせください

デジタル行政書士[®]（登録6924518）

寺西行政書士事務所

Tel 090-6211-8230

湧別町北兵村一区101番地11 旧てらにし商店

必ずチェック！最低賃金
北海道最低賃金

北海道内で働くすべての労働者（会社員、パート、アルバイトの方、学生さんなど働くすべての人）に適用される最低賃金が令和7年10月4日から改定されます。

時間額 1,075円

◆お問い合わせ先
教育ローンコールセンター
TEL 0570-008656
または03-5321-8656
(ナビダイヤル)

住宅地での

ヒグマの出没情報をLINEでお知らせします

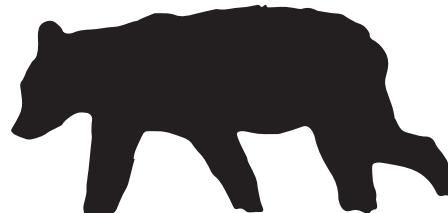
最近、北海道内の各地でヒグマの住宅地への出没についての報道が増えています。

湧別町内でもヒグマの目撃情報や痕跡の報告が年に20件程度寄せられており、住宅地でのヒグマの出没について心配されている方も多いと思います。

町では、公式LINEを活用し、住宅地へのヒグマの出没情報をタイムリーに配信しています。いち早く情報を得ることで、適切な対策をすることができますので、いざという時のために友だち登録をお願いします。

※LINEで配信するのは住宅地での出没情報に限られます。

※町ホームページでは住宅地以外での出没情報も公開しています。



1 まずは友だち登録



カメラや読み取り
アプリを起動する

カメラをQRコード
に向ける

表示された
アドレスを押す

QRコードは(株)デンソーウェーブの登録商標です

2 受信設定をタップ



3 湧別町受信設定をタップ

受信設定

該当の項目を選択してください。

湧別町受信設定

ごみのお知らせ設定

子育て情報のお知らせ設定

4 「暮らしの情報」 を選択して送信



広 告



冬の感染症を 予防しましょう



冬の乾燥と気温は、細菌やウイルスが好む環境となるため、感染力が強くなります。また、寒さによって体温が下がると、免疫力も低下します。元気に冬を乗り切るために、基本的な感染症の予防法を改めて確認してみましょう。

冬に流行する主な感染症

①インフルエンザ

38度を超える発熱、のどの痛み、全身のだるさ、関節痛などの症状がみられます。

②新型コロナウイルス

発熱、せき、のどの痛み、全身のだるさなどの症状がみられます。

③ノロウイルス

急なおう吐や下痢、発熱などの症状がみられます。

感染症を予防するには

①手洗い

さまざまな場所に触れるなどで手にウイルスが付着することがあります。外出先から帰宅した時、調理の前後、食事前など、こまめに手を洗うことが大切です。

②せきエチケット

せきやくしゃみをするときはマスクを着用し、周囲の人にうつさないようにしましょう。

③こまめな換気

寒い季節は窓を閉めたままにしがちですが、ときどき窓や扉を開けて空気を入れ替えましょう。

④免疫力を高める生活

十分な睡眠をとり、主食・主菜・副菜のそろったバランスのとれた食事を心がけましょう。

⑤ワクチン接種

感染症の発症や重症化を予防することが期待できます。

気になる症状がある場合は、早めに医療機関を受診しましょう。

※受診前に病院に電話をして、受診方法を確認してください。

～ヘルシースプーン会の時短・かんたん♪レシピ～

今より野菜 ^{プラス} + 1皿

スタミナ納豆



1人分 *エネルギー：186kcal *塩分：1.1g

材料（4人分）

鶏ひき肉	…180g
しょうが	…20g
にんにく	…20g
ねぎ	…40g
ごま油	…小さじ2杯
ひきわり納豆	…2パック (80g)
しょうゆ	…大さじ1杯半
砂糖	…大さじ1杯
タバスコ	…好みで

作り方

- ①しょうが、にんにく、ねぎはみじん切りにします。
- ②フライパンにごま油を熱し、しょうがとにんにくを炒めます。香りが出てきたら鶏ひき肉を加え、全体に火が通るまで炒めます。
- ③鶏ひき肉に火が通ったら、納豆とねぎを加えて混ぜます。しょうゆ、砂糖を加え、お好みでタバスコを足して味付けします。

みじん切りにしたピーマンやにんじん、しいたけを入れてもよいです。

会員募集中！



ヘルシースプーン会事務局：健康こども課
会の活動、その他のレシピはこちら



輝け ゆうべつ人

年齢・性別を問わない楽しさ

上湧別パークゴルフ協会

会長 森 正実

ほか
67人



第23回 JAえんゆうカップ パークゴルフ大会

4月月下旬から11月初旬。五鹿山パークゴルフ場では、早朝から練習に励む姿が日常的に見られる。

上湧別パークゴルフ協会は、設立から34年。発足当初は40人もの会員がいた。有志が集い、パークゴルフ場のコース整備にも取り組んでいたという。現在は、月に2回ほど大会が開かれ、日々の練習の成果を競い合っている。会長の森正実さんは、はじめ、実力者が多く集う協会。取材した第23回JAえんゆうカップでは、町内外から70人近くの参加者が集まつた。会員の多くは、「健康のためにやっている」と笑顔で話すが、プレー中の表情は真剣そのもの。そこには、競技としてのパークゴルフがあった。

活発な外部交流

町外団体との交流が活発な上湧別パークゴルフ協会。森会長を筆頭に、実力のある会員は網走や美幌など町外の大会に積極的に出場している。そこでの交流が、町内での大会開催や参加者の多さにつながっているといふ。

前会長の加藤勇さんは、昭和9年生まれの91歳。まだまだ現役で大会に出場し、未だ衰えを見せない。年齢や性別は関係ない。やればやるほど上達し、楽

4月下旬から11月初旬。五鹿山パークゴルフ場では、早朝から練習に励む姿が日常的に見られる。

上湧別パークゴルフ協会は、設立から34年。発足当初は40人もの会員がいた。有志が集い、パークゴルフ場のコース整備にも取り組んでいたという。現在は、月に2回ほど大会が開かれ、日々の練習の成果を競い合っている。会長の森正実さんは、はじめ、実力者が多く集う協会。取材した第23回JAえんゆうカップでは、町内外から70人近くの参加者が集まつた。会員の多くは、「健康のためにやっている」と笑顔で話すが、プレー中の表情は真剣そのもの。そこには、競技としてのパークゴルフがあった。

しさが増すという。
70代が中心となっているという
協会。「個人プレーで、自分の
ペースで楽しめるのが魅力。健
康増進のためにぜひ」と、参加
者を募集している。



森 正実 会長

加藤 勇 前会長



町の動き
8.21~9.20

人口と世帯(9.30)
人 口：(男) 3,753人(-2)
(女) 4,088人(-6)
計 7,841人(-8)
世帯数： 4,072戸(-1)
()は前月対比

お誕生おめでとう

郡山 つばき 椿生ちゃん 男
(凱斗・日向代さん 栄町)
三澤 さおり 左織ちゃん 女
(陽樹・愛佳さん 曙町)
柿崎 つむぎ 紡生ちゃん 男
(輝太・明里さん 栄町)
酒寄えりか 愛莉花ちゃん 女
(風樹・冴恵さん 東)

まちへ善意をありがとう

・湧別高校学生寮
長谷川 芳博さん (東京都)

は~い 元気です!!

10月生まれ(1歳)

令和6年生まれの1歳になったお子さんを対象に掲載しています。
(写真:保護者提供)



如澤 龍世ちゃん
令和6年10月7日生まれ
「我が家のかいじです」
厚・はるか



本間 詩蘭ちゃん
令和6年10月8日生まれ
「私ウラン!毎日エネルギー
有り余ってます!」
創太・悠華



可児 望桜ちゃん
令和6年10月26日生まれ
「1歳おめでとう!」
元気に大きくなってね
章悟・亞優美

第44回北海道小学生バンドフェスティバルで見事金賞! 上湧別学園金管バンドが全国の舞台へ



上湧別学園金管バンドが、9月27日(土)に開催された第44回北海道小学生バンドフェスティバルのフロア部門で金賞を受賞し、全国大会の代表に選ばれました。

フロア部門は動作をともなう立奏を中心とした部門で、演奏のほかにも、音と動きの調和が重要となります。

上湧別学園金管バンドは、11月22日(土)に開催される、第44回全日本小学生バンドフェスティバルフロア部門に出場します。全国での挑戦を、応援しましょう!

上湧別学園 辻 柚希さん、 U14ナショナル育成センタートライアウト選抜メンバーに!

上湧別学園バスケットボール部の辻柚希さんが、U14トライアウトの北海道代表メンバーに選ばれました。

11月に行われるキャンプに向け、10月11日(土)、12日(日)の二日間、東京で行われるトライアウトに挑戦します。世界に通用する選手の育成を目指し、日本バスケットボール協会主催で開催されているもので、北海道ブロックから選出されたのは3人のみです。

バスケが大好きだと言う辻さんは、「一番は楽しんでやること。緊張もするけど楽しみです。」と話しました。辻さんの挑戦を応援しましょう!



この広報紙は町民有志プロジェクトにより選定された5色のゆうべつの色を基調としています。